

令和 7 年度

災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ - B 型）

仕様書

（龍ヶ崎消防署西部出張所配置）

稲敷広域消防本部

茨城県龍ヶ崎市 3571 番地の 1

TEL 0297 - 64 - 3745

FAX 0297 - 64 - 6610

第1 総 則

- 1 この仕様書は、稲敷広域消防本部（以下「当消防本部」という。）が、令和7年度に購入する水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ-B型）（以下「消防ポンプ車」という。）この艤装及び積載器具、その他必要な事項について定める。
- 2 車両の製作は、緊急消防援助隊設備整備費補助金交付要綱（平成18年4月1日消防消第49号、以下「交付要綱」という。）に定める災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車として制作されたものを基本とするほか、この仕様書及び製作承認図等（契約後受注者にて製作すること。）によること。
- 3 消防ポンプ車は、動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令（昭和61年自治省令第24号）に定める規格及び道路運送車両法の保安基準に適合し、緊急車両として承認を得られるものとする。
- 4 契約にあたっては、本仕様書を了承し、疑問な点は当消防本部担当者に質問し、十分熟知のうえ契約するものとし、契約後において生じた一切の質疑は、すべて当消防本部の解釈に従うものとする。
- 5 受注者は、契約後仕様書詳細について当消防本部担当者と打合せを行い、製作承認図等を当消防本部に提出し、承認を得て製作に着手すること。
- 6 受注者は、消防ポンプ車製作にあたり、本仕様書及び承認図において変更、あるいは疑問な点が生じたときは、直ちに当消防本部に連絡の上、その指示を受ける図書等を提出し承認を受けるものとする。
- 7 本仕様書に明記されていない点は、メーカー公表の標準仕様とする。
- 8 製作に使用する全ての艤装材料及び資機材等は、JIS G 3101（一般構造用圧延鋼材）を使用し、最新型で新品を使用すること。
- 9 受注者は、製作全般にわたり厳重な検査を実施することとし、ISO 認証取得による品質管理システムにて製造が行われていること。
- 10 受注者は、設計、製作、材料、部品等に関し、特許その他権利上の問題が発生した場合は、その責任を負うこと。
- 11 同等品の申請は、入札前の当消防本部が指定した期日までに、諸元・性能・価格等の比較表を提出して当消防本部の承認を得ること。なお、落札後の申請は認めない。
- 12 総務省の推進する ICT 政策の一環として、IoT システムを活用し、故障時の遠隔診断が行える機能を備えること。
- 13 受注者は、当消防本部立会いのもとで、艤装検査等必要な検査を受けること。

14 車両完成時には、「消防用車両の安全基準について」を満たしているかの検証のため、工場出荷前に下記検査を行うものとし、検査時の写真及び転覆角度実測証明書を納入時に提出すること。

- (1) 完成車重量測定検査
- (2) 完成車転覆角度検査
- (3) 完成車悪路走行検査
- (4) 完成車登坂走行検査

15 完成車両は、関東運輸局茨城陸運支局の行う新規登録検査に合格したものを納入することとする。

- (1) 納 期：令和8年3月25日（受注者の責によらない事由によって遅延の恐れがある場合は別途協議）
- (2) 納 入 場 所：新規検査及び新規登録を受け、当消防本部に納入すること。
- (3) 登 録 諸 費 用：登録に関する一切の経費については受注者が負担する。但し、自動車登録手数料、自動車重量税、自動車損害賠償責任保険料及びリサイクル料金は、当消防本部が負担する。

第2 車両諸元

1 概 要

消防ポンプ車は、下記シャシに一段ボリュートポンプと 1,500Lの水槽、消火泡圧縮吐出装置（以下「CAFS」という。）を装備し、河川、消火栓等より吸水し、強力な放水をもって火災に対し速やかに活動できるものとする。

2 使用シャシ

- (1) 使用シャシは、令和7年に製造された5.5トン級消防認定エンジン付き専用シャシ（4WD）とし、最新の排出ガス規制（新長期排出ガス規制）に適合したもので、CAFS 搭載型水槽付消防ポンプ自動車の艤装に最も適したものを当消防本部と受注者が協議し、日本のメーカーより選定するものとする。シャシのモデルチェンジにより下記内容に変更が生じた場合は、当消防本部に遅滞なく連絡し、協議を行うこと。

(2) 諸 元

ア 形 式	5.5 t 級消防車専用ダブルキャブオーバー型増トン仕様
イ エ ン ジ ン	ディーゼルエンジン ターボ付 5,100 cc以上
ウ 工 率	74kw (100Ps) 以上
エ 駆 動	オートマチックトランスミッションもしくはマニュアルトランスミッション
オ 走行出力	220ps/2,700rpm 以上
カ 検定出力	220ps/2,700rpm 以上
キ 走行装置	4 輪駆動 パワーステアリング装置
ク 懸架装置	リアサスペンションを従来よりも強化したものを使用
ケ 全 長	7,300 mm以下

	全 幅	2,330 mm以下
	ホイールベース	3,500 以上 3,850 mm以下
	全 高	3,000 mm以下
コ	蓄 電 池	24V－100AH 以上
サ	バッテリー	145G51 型以上 2 個
シ	乗 車 定 員	6 名（前部 2 名、後部 4 名）
ス	タ イ ヤ	スタッドレスタイヤ（ヨコハマ ZEN902ZE） アルミホイール チェーン 1 組付属（金属製）
セ	スペアタイヤ	ホイール付 1 本（前輪と後輪のホイールが異なる場合は各 1 本の計 2 本とする。）
ソ	安 全 装 置	ABS 装置 エアバッグ（運転席）
タ	ヘッドライト	ディスチャージ又は LED 仕様
チ	車幅灯、ステップ灯	LED 仕様
ツ	路 肩 灯	LED 仕様
テ	フォグランプ	ヘッドライト内蔵
ト	ドアミラー	電動格納式、メッキカバー付
ナ	ド ア	集中ドアロック、パワーウィンドー
ニ	フロントグリル	メッキ仕様
ヌ	オイルパンヒーター	キャプタイヤコード 10m 1 本付き
ネ	エ ア コ ン	純正品
ノ	カーナビゲーションシステム	据え付け型（地上デジタル 7 インチ SD カード） オーディオ AM/FM ラジオ、CD 付（チューナーレス）
ハ	キャビン内シート	防水性を有する耐久性のあるカバー（特注品）付き
ヒ	サイドバイザー	キャビン各ドア上部
フ	泥除けたれゴム	全輪
ヘ	フロアマット	前後席一式
ホ	オイルジャッキ	一式
マ	標 準 工 具	一式
ミ	非常信号灯	一式
ム	停止表示板	一式
メ	車両盗難防止システム	セキュリティ対応のスタートキーを 5 個 シャッターキー 5 個 その他でキーを使用する場合は各 5 個
モ	ドライブレコーダー	一式（モニター付、SD カードタイプ）
ヤ	バックアイモニター	ルームミラータイプ
ユ	ETC 車載器	ボイス機能付
ヨ	各操作装置、計器、スイッチ類	にはプレート及び照明等を取り付け、名称等を記載すること。
ワ	エンジン油温計、回転計、アワーメーター等	、その他車両の運行に必要な計器類を装備すること。

第 3 ポンプの規格、仕様

1 水ポンプ装置

(1) 水ポンプ (MZ-I)

ア ポンプ性能は、駆動エンジンが効率 74kw (100Ps) 以上

イ 軽量かつ低燃費・省エネルギーのインデューサー付一段ボリュートポンプとする。

ウ ポンプは、A-2 級で送水圧力は、下記のとおりとする。

0. 85Mpa において 2, 200L/min 以上

1. 40Mpa において 1, 900L/min 以上

(2) 水ポンプ及び CAFS は、シャシエンジンのメーカー純正フルパワー P. T. O (パワーテイクオフ) により駆動され、P. T. O の操作は運転席及びポンプ操作盤に設けられたレバー又はスイッチにより行うものとする。

(3) グランド部は不凍液等を必要としない完全メンテナンスフリーメカニカルシールとする。

2 冷却水装置

(1) ギアケース、補助クーラーへの配管は一系統にまとめ、1 個のコックで調整できること。

(2) 予備回路を設け、通常及び予備それぞれストレーナーを備えるものとする。

(3) 冷却水を外部に放出せず水槽へ還流させること。また、自然水利を揚水した場合、水槽へゴミが侵入しないようコック操作により外部へ放出できる構造とする。

3 真空形成装置 (MEJ-1300)

真空ポンプはスペースの有効利用、軽量化及びメンテナンス性の観点から真空ポンプを用いずに、CAFS のコンプレッサーから吐出される空気を利用して形成するエゼクター方式を用いること。

操作は押ボタン式スイッチによるものとし、駆動装置は円滑に作動し揚水完了後は自動的に停止すること。

なお、非常用の別系統スイッチ、及び非常用圧力計・連成計を車体右ポンプ操作部付近に設ける。

真空性能：吸管外端閉塞にて 30 秒以内に大気圧の 84%

4 ポンプ不凍装置

専用のタンク (4L) を設け、少量の不凍液を注入しポンプ、コック、バルブ類を含め、常時接水部は凍結を防止する構造とすること。

5 安全機能装置付ポンプ操作装置 (e-モニタ)

ポンプ操作装置は操作員が容易に且つ安全にポンプ操作が行える様、次の機能を有するものとし、一つの操作盤 (一体型オールインワンタイプのポンプ操作盤) で全てが行なえるものとする。

(1) 圧力計・連成計 (リタード式) はステッピングモータを用いた電子式 (透過光照明灯・ゲージ部作動確認ランプ付) とし、振動等でも針振れがない構造とする。

(2) ポンプスロットルは電子式スロットルとし、左右どちらでも同方向に回転することによってエンジン回転速度を上げ下げできるものとする。

- (3) ポンプスロットルは、誤作動を防止するための安全ロック機能を設ける。
- (4) 多目的表示液晶ディスプレイは操作盤の中央とし、詳細は以下のとおりとする。
- ア 取り扱い表示（機器取扱・点検整備・故障対策等を文章で表示ができること。）
 - イ モニター表示（警告モニターとして冷却水及び真空ポンプ作動タイムに対する警告表示ができ、なお且つ警報ブザーが鳴るようにすること。また、各ボールコックの開閉状況、揚水・放水の状況確認のできるモニター表示、ポンプ回転計・ポンプ圧力計・ポンプ連成計・流量計・水タンク水位計を各々デジタル数値によりモニター表示ができること。）
 - ウ 流水表示（各ボールコックの開閉状況、ポンプの運転状況及び放水時における水の流れる状況が把握できる流水表示ができること。）
 - エ CAFS 操作ができること。
- (5) ディスプレイ内の各表示切換は、タッチパネル式又はパネルスイッチ式により行えるものとする。
- (6) 液晶パネルは視認性を考慮し 500 カンデラ以上とし、日中活動時の視認性を確保すること。
- (7) 真空ポンプ操作は非常時に手動操作にて行えるものとする。
- (8) ポンプ操作装置には隊員の安全を確保する為、次の安全機能を設ける。
- ア スロットル固定機能
不用意にスロットルに触れても、エンジン回転の上昇を防ぐようスロットル固定機能を設ける。但し、固定した場合でも安全方向（スロットルダウン）には操作出来るものとする。
 - イ 自動調圧機能
ポンプ圧力を任意に設定し、設定圧力以下になった場合は設定圧まで圧力を上昇させ、設定圧以上になった場合は設定圧まで圧力を下げる自動調圧装置をポンプ操作装置内に設ける。また、ポンプ集中操作盤内カラー液晶画面のポンプ本体をワンタッチすることで、設定圧力を 7 段階（0.4MPa～1.0 MPa）呼び出し、ワンタッチで圧力を設定するとスロットル操作なしで設定圧になる機能も有すること。
なお、操作は圧力調整後に設定する方式と、予め決まった 7 段階の圧力値をワンタッチで選択設定できる 2 方式とする。なお安全確保の観点から、1.0 MPa を超える圧力を設定する場合は、機関員が確認できるように前者の設定によってのみ設定できるようにすること。
 - ウ 流量計色分け表示
操作盤表示の流量計については車体の左右に関わらず、両側面の放水口の流量が確認できること。また、流量の表示は放水操作時の目安となるように、流量によって表示色が変化すること。
 - エ 緊急減圧機能
左右操作盤にボタン式の緊急減圧スイッチを設け、ボタン作動時は即座にエンジン回転をアイドリングまで下げ、水吐出圧力を減圧する構造とすること。
 - オ CAFS 操作装置
操作性と誤操作防止を考慮し、本多目的液晶ディスプレイ内で泡放射に

関する全ての操作が可能なこととし、タッチパネル式又はパネルスイッチ式にて操作が出来ることとする。なお、左右両側の操作盤で同様の操作ができる構造とする。

カ 真空テストモード

点検を容易にする為真空テスト機能を設け、エンジンを OFF にしなくても運転席または本操作装置に設けられた P. T. O スイッチを OFF にすることで漏気チェックが可能なこと。真空ポンプ駆動後、所定の真空度まで下がれば OK と表示し、30 秒経過後も規定値まで下がらなければ NG と表示すること。また真空テスト完了後、30 秒間に規定値以上の漏れが無ければ OK と表示し、漏れがあれば NG と表示すること。

キ 遠隔診断機能

故障時等の迅速な措置が行えるよう、遠隔診断が可能な IoT システムを活用した機能を備えること。

6 吸水口（ストレーナー付）

- (1) 吸水口は、消防呼称 75mm ボールコック（スーパースイングエルボ及びストレーナー付き）を車両両側に各 1 個設け、75mm×10m・反射テープ付のソフト軽量吸管を常時接続する構造とし、連続呼水装置（エジェクター）を装備する。レバーは左右とも前方向で開とする。
- (2) 排水用ドレンコックを設けること。
- (3) ホースの結合用ネジ部の艤装材料は、消防用ホースに使用する差込式又はねじ式の結合金具及び消防用吸管に使用するねじ式の結合金具の技術上の規格を定める省令（平成 25 年総務省令第 23 号）の規定に適合するものであること。

7 放水口

- (1) 放水口は消防呼称 65mm ボールコックとし、ポンプ室両側に各 2 個設けること。なお、設置する媒介は、すべて 50、65mm ホースに対応できるマルチコネクターとし、左右前方各 1 個については CAFS の吐出口と兼用とする。レバーは左右とも前方向で開とする。
- (2) 排水用ドレンコックを設けること。
- (3) ホースの結合用ネジ部の艤装材料は、消防用ホースに使用する差込式又はねじ式の結合金具及び消防用吸管に使用するねじ式の結合金具の技術上の規格を定める省令（平成 25 年総務省令第 23 号）の規定に適合するものであること。

8 中継口（ストレーナ及びキャップ、チェーン付）

- (1) 中継口は、消防呼称 65mm ボールコック（ストレーナ付き）とし、ポンプ室両側に各 1 個設けること。レバーは左右とも前方向で開とする。
- (2) 排水用ドレンコックを設けること。
- (3) ホースの結合用ネジ部の艤装材料は、消防用ホースに使用する差込式又はねじ式の結合金具及び消防用吸管に使用するねじ式の結合金具の技術上の規格を定める省令（平成 25 年総務省令第 23 号）の規定に適合するものであること。

9 圧縮空気泡吐出装置 (CAFS・MMC5400)

(1) 日本製で(財)日本消防設備安全センターの性能評定に合格しているものとする。装置は、水ポンプ装置から送られてきた水を利用して、混合器で作られた混合液にコンプレッサーを用いて圧縮空気を送り込み、配管内部で泡状にして発泡できる装置で、少量の水で効率の良い泡消火が出来るものとする。また、気水比が5～10倍の消火・火炎鎮圧用湿器式泡(ウェット泡)と気水比が16～20倍の延焼防止・残火処理用乾式泡(ドライ泡)の2種類の泡について、泡管鎗を用いることなく吐出可能なものとする。水ポンプ装置から高い圧力を受けても0.7MPaに減圧される構造とする。また、中継口より受水した場合でも使用可能なこととする。

(2) 性能

ア 最大水流量 900L/min 以上、最大空気吐出量 4,500L/min 以上とし、最大泡吐出量 5,400L/min 以上とする。なお、泡の吐出量を確認するための泡流量計を左右のポンプ操作盤液晶ディスプレイ内に設け確認が行えるようにすること。

イ 泡吐出圧力は、0.3MPa～1.0MPa まで無段階調節ができるものとし、吐出泡流量はスロットル操作に応じて任意に調整できるものとする。

(3) 操作方法

ア 本装置の操作は、容易かつ集中操作ができる安全機能付ポンプ操作装置で可能なこととし、タッチパネル式又はパネルスイッチ式で操作ができること。

イ 湿式泡と乾式泡の泡原液濃度切り替え操作は、ディスプレイ内にてワンタッチで行えるものとする。なお、切り替え及び変更操作は放水中でも可能とする。

ウ 一定の問題が発生した場合は、液晶ディスプレイにエラー情報を表示すること。

(4) 安全機能

ア CAFS 運転時においての適正な回転数にスロットルを上げた後においては、スロットルを上げようとしても、規定回転以上には回転が上がらないよう過回転防止装置を設けること。

イ コンプレッサーの油温が過熱すると警報を発すること。

ウ 泡原液の供給ができなくなった場合、スラッグフロー防止のため、自動的に水のみ放射に切り替わる構造とする。

エ 泡放射ならびに混合液の放射については、自然水利、消火栓、中継水利、自転車水槽のいずれの水利においても支障無く放射が出来る構造とすること。

オ メンテナンスを考慮し、サイド P.T.O は使用せず、水ポンプ駆動用フルパワー P.T.O を動力とすること。

(5) コンプレッサー

ア オイル循環式のロータリースクリュー型コンプレッサーとし、コンプレッサーの潤滑油は補助冷却器により冷却する構造とする。なお、補助冷却器は圧力水の一部の水により冷却されるものとする。

イ コンプレッサーはメンテナンスを考慮し国産製品とする。

- ウ コンプレッサーはスペースの有効利用のため真空形成装置兼用とする。
 - エ コンプレッサーの油温上昇を警告するブザー等を設けること。
 - オ コンプレッサーの冷却に使用した水は水槽へ還流するものとする。また、切替により車外にも排出できる構造とすること。
- (6) 混合装置
- ア 圧縮空気泡における水流量を感知して、コンピュータ演算により自動的に 泡原液量を調整して混合比設定をする電子式比例混合式とする。混合比は液晶ディスプレイ内でワンタッチにて変更可能なこと。なお、混合比の変更は放水中でも可能なこと。
 - イ 原液濃度の設定は 0.3～1.0%の8段階の設定可能な構造とし、左右の液晶ディスプレイ内で設定ができること。
- (7) 泡原液（クラス A 消火薬剤：マルチ A）及び容器等
- ア 日本消防検定協会の型式を取得し、なお且つ型式適合検定に合格した物とする。
 - イ 環境保全型消火薬剤とする。
 - ウ 泡原液は淡水を使用した 1 %水溶液において、6 倍以上の発泡倍率を要すること。
 - エ ポンプ室内に交換容易なポリタンク（20L）式の原液容器を設置する。
 - オ 消火作業中の泡原液の補給を容易に行なえるよう、固定型の原液槽は設けないこと。また、吸液コックの操作で外部吸液と切替でき、原液吸入口には専用のチェーン付きオスキャップを設置すること。なお、原液補給口にも同型のキャップを設置すること。
- (8) 本装置での泡消火作業は、ポンプ室左右前側の水ポンプ吐水口を使用し、ポンプ操作盤の操作により、容易に泡放射と水放水の切替が可能な配管構造とする。なお、操作性及び誤操作防止のためにも、消火泡吐出口を専用で設けないこと。
- (9) 装置（コンプレッサー、混合装置等）は全てポンプ室内に収納し、ポンプ室下収納ボックスや後部シャッターボックス等各ボックス内のスペースを減少 させることなく、ホースや資機材を積載できること。
- (10) 消火活動中、車載の泡薬剤容器の泡薬剤が少なくなった場合において予備の薬剤容器より薬剤を吸液できること。
- (11) 泡放射を行なわない場合においては、予備薬剤容器から車載薬剤容器に補充できる構造であること。

10 混合液放水

中継送水を考慮し、水と泡原液のみを混合し、混合液のみの放射も可能な構造とすること。なお、操作はポンプ操作盤液晶ディスプレイ内にて行える構造とすること。

11 水槽及び配管

- (1) ポンプ室後方フレーム上に容量 1,500L の水槽（ステンレス）厚さ側面 4.0 mm以上、底部 6.0 mm以上、上部 4.5 mm以上を設置し、水位計（e モニター内蔵）及び水量計（保護管、排水コック、排水パイプ、目盛、照明付き、浮子入り）を左右見やすい位置に取り付ける。

また、補給口（開閉コック、逆止弁、キャップ、チェーン付）を後部フェンダー内に左右各1個取付け、上部にオーバーフローパイプ及びマンホールを、下部に排水口及びドレンバルブを設ける。なお、水槽関係の配管も含め使用する配管を可能な限り、ポリプロピレン製とすること。（詳細については当消防本部と協議すること。）

- (2) タンク吸水口については、電動コックを使用しポンプ操作装置のディスプレイ内で操作可能にする。電動コックについては、緊急時手動操作が車外より行なえること。
- (3) ポンプ吸水側との間に、75 mm電動ボールコックを設け、多目的表示液晶ディスプレイにて開閉操作が行えること。また、ポンプ吐出側より水槽に自己補給が可能になるよう配管すること。
- (4) 水槽内部には防波板を設けるものとする。
- (5) 水槽内面は防食加工を施すこと。
- (6) 水圧に対して変形及び水漏れのない構造とすること。
- (7) 水槽内部は清掃、塗替え等に便利な構造であること。
- (8) 各配管には緩衝装置を施すこと。

第4 車両の構造

1 車体の構造

(1) キャビンの構造と艤装

- ア キャブチルト装置（電動油圧式）は、キャビンを支えられる性能を有するものとする。
- イ 座席は前部2名、後部4名とし安全ベルトを定員分取付け、後部隊員席にステンレス製手摺り（S字フック5個付）を設け、手摺り下部に書類（A3対応）収納用可倒式テーブル兼用型ボックス・パンチングメタルタイプを設置し、S字フックを5個取り付けること。
- ウ 後面ガラス内側に保護枠を設け、空気呼吸器取付け装置（クイックホルダー、ロングタイプレバー）、上部に面体掛けフック4組を取付けること。また、上部に金属製の棚（ルーフリアコンソール・パンチングメタルタイプ）には収納物落下防止処置を施し設置すること。また、中央上部にも金属製の棚（ルーフセンターコンソール・パンチングメタルタイプ）を設置すること。
- エ 後部座席は背もたれ折畳シートとし、背部は積載品が収納出来る構造とし、積載品の取出しができる前空きタイプ構造とすること。
- オ 各ドア後部のキャビン外ピラーには、乗降用手摺り棒（ステンレス製又はメッキ仕様）を取付けること。
- カ 各ドア下部に、昇降時のステップを照射するLEDフットランプを設置するとともに、ドア内面に黄色の反射テープを取付けること。
- キ 後部座席昇降ステップはワイドステップとし、ステップ部は滑り止め効果の高いグレーチングメタルとすること。右側ワイドステップ部には、車輪止め収納用ボックスを設けること。尚、走行時車輪止めが飛び出さないように、飛び出し防止の措置をとること。左側ワイドステップ部には、バッテリー点検用の扉を設けること。（詳細については当消防本部と協議すること。）

- ク 各昇降口フェンダー部及び蹴り込み部にアルミ製保護板を取付けること。
- ケ キャビン内天井部は内張りを施し、電装品、配線等の点検が容易に出来るようにすること。
- コ キャビン内の天井中央部付近に、照明灯（LED）を取付け前部への反射防止対策を施し単独スイッチとすること。（詳細については当消防本部と協議すること。）
- サ 各装置のスイッチパネルは内容表示付きコンソールタイプとし、運転席と助手席の中央にボックスを設け、電子サイレンアンプ（合成音声付）・無線機（スペースのみ設定）・機能集中操作スイッチ（10 連スイッチ）及び各スイッチ類等と併せて埋込式に取付けるとともに、A V M 取付架台を設置する。また、運転の障害とならない照明灯を取付けるとともに、100V ロコンセント（シャッター付き・1, 000W 対応）を使用が容易な位置に設置するとともに、A4 書類、携帯無線機等を保管する収納ボックスを設けること。（詳細については当消防本部と協議すること。）
- シ 各装備の電気配線及び無線装置関係の各配線は、十分な容量を有するものを使用し、キャビン内張り内を通しキャビン本体の各貫通部は防水構造とすること。
- ス 艀装関係の配線用ヒューズボックスを設け内容表示付とすること。
- セ 消防章をフロントグリル又はキャビンフロントパネルの中央に架台（アルミ製、黒色）を設けて取り付けること。
- ソ キャビン上部に散光式警光灯（標識灯・スピーカー、リターン式パターンスイッチ付）を架台（散光式警光灯と幅同サイズ）付きで設置及び作業灯を左右に設置すること。また、電動サイレンを架台付きで設置し、散光式警光灯が点灯しているときのみ吹鳴する構造とすること。（詳細を当消防本部と協議すること。）
- タ グリル内に赤色点滅灯（ガード無）を取付け、散光式警光灯と連動とし、十分な容量を有するリレーを取付けること。（詳細を当消防本部と協議すること。）
- チ 運転、助手、後部席両側の 4 箇所にフレキシブル式又は直射式マップライト（LED、シーソーススイッチ付）を取付け、前中央上部に大型デジタル時計を設置すること。（詳細を当消防本部と協議すること。）
- ツ キャビン内の天井に携帯拡声器の吊り下げ式固定装置を 2 個設けること。
- テ フロントバンパーの蹴り込み部及び上部にアルミ縞板を取付け、バンパー付近に牽引及びチルホール支持点用の 2 t フック又はシャックルを 2 ヶ所取り付けるとともに、下部にスポイラーを取り付けること。（詳細を当消防本部と協議すること。）
- ト エンジン始動用のメインキーにより、取付品、電装品の電源が一括切断できる構造とし、ステップ灯（LED）も消灯させること。
- ナ バッテリーメインスイッチを設けること。
- ニ バンパー内に牽引フックを設置すること。
- ヌ 前後の点滅灯を消灯させる専用スイッチを設けること。（詳細を当消防本部と協議すること。）

ネ エンジン室に作業灯を設けること。(詳細を当消防本部と協議すること。)

ノ 機能集中操作スイッチ(10 連スイッチ)に接続する装備品、また、これ以外の装備品スイッチ(表示灯 LED 仕様)については、十分に当消防本部と協議すること。

ハ シャシ純正アンテナは短く改良したものとする。(詳細を当消防本部と協議すること。)

ヒ キャビン上部にアルミ縞板貼りの作業台を設け、点検時に人員 1 名の荷重に耐えうる構造とし、周囲を化粧囲いで覆うこと。

(2) 後部車体艤装及び取付品

【共通事項】

ア 車体の構造及び艤装は、堅牢で耐久性・走行性による震動等に十分耐えるように製作するとともに、オールアルミシャッター式(メーカー選択を協議する。)とし、車体側面はボックス等の凹凸面をなくし平面的に工作すること。車両側板は一般構造用圧延鋼材(SS)厚さ 1.6 mm 以上を使用し、周囲を外側に折り曲げ加工するとともに、つなぎ部から水の侵入がないよう措置を講ずること。各ステップ、フェンダー等は FRP 又は一般構造用圧延鋼材(SS)厚さ 1.6 mm 以上で製作するとともに、アルミ縞板を貼り鋼材の場合は端部周辺を折り曲げ加工した構造で、溶接部分にはステンレス製のカバーを貼り、併せ部分が露出しないこと。

イ 車体は全体にわたり耐蝕・耐水性に十分考慮し製作するとともに、ポンプ室内の点検、整備が容易に行えるように必要部分に点検扉を設けること。ポンプ関係のヒューズボックスは、キャビンチルトアップをせずに点検、交換のできる位置に設置すること。

ウ 車体キャビン直後よりポンプ室、水槽とし、上面はアルミ縞板貼りとし、角部は側面に数センチ下ろすこと。また、水はけの良い構造とし、ポンプエアフィルタ、エアチャンバ、ポンプ本体、燃料フィルタ及び水槽点検扉を設けること。接合部は雨水の侵入がないよう十分な防水処理を施すこと。(詳細は当消防本部と協議すること。)

エ 各資機材、ステップ等のあたり箇所はアルミ製板で覆うこと。

オ ポンプ室及び各収納ボックスの扉は、アルミ合金製シャッター扉及びステップ兼用スカート扉(扉 90° 開放、完全チェーンレス構造)とし、各ボックス内に照明灯を設置する。照明灯は器具等の積み降ろしに支障のない箇所に取付け、スイッチはキーメインスイッチを介して、それぞれ扉オープンスイッチを取り付けること。

また、ステップ兼用スカート扉内に水が浸入しないようステンレス材にて塞ぐ処置を講ずること。(詳細は当消防本部と協議すること。)

カ 燃料タンクは車体下部に設置し、給油口は給油しやすいようポンプ室左側下面とするとともに内容表示を付けること。

キ ポンプ室内部 2 箇所に照明灯を取り付けること。

ク 各操作レバー、スイッチ等は明瞭なる内容表示をし、必要に応じ夜間でも確認出来る照明灯を取り付けること。

ケ 各ボックスに水抜き口を設け、ビニール製パイプを取り付けること。(詳細は当消防本部と協議すること。)

- コ 塗装面に傷の付くおそれのある上向きの角部分、各コーナ一部、後部フェンダー、ステップ扉等はアルミ又はステンレス製の板で保護すること。また、金属同士が接する部分はステンレスを使用すること。（詳細は当消防本部と協議すること。）
- サ ボックス内及び上部積載アルミ製収納ボックスの全部に、樹脂製スノコを取り付けること。
- シ 収納庫、収納ボックス内の棚の段数は積載物を協議、決定後に設計し、収納ボックス棚の指示する箇所は、高さ調整、取り外し可能な構造とし、積載器具の収納は収納枠、固定器具、ローラーパイプ、ラッチ扉、スライドテーブル、スライドボックス及び固定ベルトを適切に設け、走行振動等により移動、落下等のないよう特に考慮すること。（詳細は当消防本部と協議すること。）
- ス 各取付けボルト、ネジ類はステンレス製とする。但しポンプ取付け用ボルト、ジョイントボルト等、強度の必要な部分はステンレス以外でも可とする。
- セ 車外に露出する器具の固定は、落下を防止するために二重ロック構造とすること。また、使用するナイロン製ベルトは劣化を考慮し、設置してある数と同数を予備として積載すること。
- ソ 艀装時の溶接部分で特に下回り部には下回り用の塗装を施し、錆の発生防止に十分配慮すること。
- タ シャッター巻き取り時のキズ防止対策として、直下にアルミ製保護板を取付けることともに、資機材積み下ろし時における縦レールとの干渉防止処置を内部側に施すこと。（詳細は当消防本部と協議すること。）

【上部】

- チ 車両上部にアルミ縞板製のボックスを3個設け、1個は消火器専用、扉はダンパー付とし、堅固に固定するとともに十分な防水処理を施すこと。また、1個のボックスの蓋の裏、或いは側面に専用収納ボックスを設置し、ハイクボード（ファerno製）を収納できる構造とし、ボックス内部にも専用の積載品固定金具を設置し積載品を固定すること。
また、ポンプ室等の上部空きスペースを活用し箱型収納庫（側面閉鎖型）を設置すること。（設置箇所、積載品、サイズは当消防本部と協議すること。）
- ツ 車体上前部に伸縮ポール式照明灯（LED 投光器）を取付けること。スイッチはメインスイッチをキャビン内機能集中操作スイッチ（10 連スイッチ）に、個別のスイッチをポンプ室シャッター内に設けること。（詳細は当消防本部と協議すること。）
- テ 車体上後部に伸縮ポール式照明灯（LED 投光器）を取付けること。スイッチはメインスイッチをキャビン内機能集中操作スイッチ（10 連スイッチ）に、個別のスイッチを背面作業灯と共用するスイッチ専用埋め込みボックス内に設けること。（詳細は当消防本部と協議すること。）
- ト 天井の前部には積載した資器材の転落防止処置を兼ねた2段手すりを設け、側部にはアオリ及び1段手すりを設け、後部に1段手摺を設けること。（詳細は当消防本部と協議すること。）
- ナ 上部左側に、三連梯子とかぎ付梯子が共に積載できる二重ロック式梯子

昇降装置を取り付け、左側面横並びにトビロ 2 本を設置すること。トビロは振動による落下を考慮し、二重ロック構造（横並びなら必要なしとする。）とし、先端はステンレス製の保護枠を設置し、操作員の負傷防止を図ること。なお、昇降装置のロックピン、ロック解除ハンドル、その他繊細な部分はステンレス製とする。（詳細は当消防本部と協議すること。）

【側面】

ニ 無線機の遠隔制御装置ボックス（扉なし、照明灯付）を左右に設け、装置は送受話機、スピーカー（吊り下げ式、地上高 180cm の位置に設置）、広報用マイク、AVM 外部設定器、スイッチ等を取付け、コルゲートチューブを配管し配線すること。（詳細を当消防本部と協議すること。）

ヌ 左ポンプ室下部にスカートボックス設け、扉は開放時ステップ（内側はアルミ縞板貼り）として使用出来る構造とし、扉の角はアールをつけ、3 面に LED 警告灯及び黄色の反射テープを取り付けること。また、島田巻きホースを収納するため、使用の際に取り出し易い構造（両サイド及び底面にローラーパイプ及び落下防止ベルト 2 本設置）とすること。（詳細を当消防本部と協議すること。）

ネ 左右後輪上部には収納ボックスを設け、内部は上下可動式の 2 段とし、下段は島田巻きホースを収納するため、使用の際に取り出し易い構造（両サイド及び底面にローラーパイプ及び落下防止ベルト 2 本設置）とし、上段は資機材を収納できる構造とし、各段に照明灯を取付けること。また、フェンダーはステップ（内側はアルミ縞板張り、3 面に LED 警告灯及び黄色の反射テープ付）として使用出来る構造とし、フェンダー内に水槽への積水口（開閉コック付）を設置すること。（詳細を当消防本部と協議すること。）

ノ 左右後輪フェンダー内に、積水口を照射するためのボックス内照明と連動式後輪照明灯を、扉オープンスイッチ付で取り付けること。

ハ フェンダー後方はシャッター及びスカート扉とし、内部は収納ボックスを上下可動式の棚板を設けて 3 段とし、資機材を積載できる構造とすること。

なお、スカート扉 3 面に LED 警告灯及び黄色の反射テープを取り付けること。（積載品等の詳細は当消防本部と協議すること。）

ヒ シャッター上部側面にアオリを設け、内側は縞板張りとし、作業灯 2 個、赤色点滅灯 2 個、自衛噴霧ノズル 3 個（位置は要協議）を設置すること。乗降に必要な箇所には別途手摺を設置すること。

車体背面上部左右に赤色点滅灯及び作業灯（共にステンレス製保護枠付を協議）を各 2 個取付け、散光式警光灯と連動し十分な容量を有するリレーを設けること。なお、作業灯のメインスイッチをキャビン内機能集中操作スイッチ（10 連スイッチ）に入れ、個別のスイッチを別に設け、側面用は左右ポンプ室シャッター内、背部用は専用の埋め込みボックス内に設けること。（詳細は当消防本部と協議すること。）

フ 車体右側前方（キャビンと後部車体の間）及び背部右側に昇降用梯子を取付ける。梯子はステンレス製滑り止め付とし、梯子上部片側は高くし手摺りとして利用できること。また、蹴込み部分はアルミ製の保護板を

全面に貼り付けること。

ハ ポンプ室左右に吸水管（75mm×10m）を常時吸水口に接続し、計器類及びコックの操作等に支障とならないよう円状に取り付け、吸口エルボは両側ともに自在型とすること。

ホ 水タンク送水バルブをポンプ室右側に取り付ける。

マ サイドフラッシャーランプを車体左右に取り付ける。

ミ キャビン下にステップ兼用のエプロンを延長し、左側にバッテリー専用ボックス（ステンレス製雨樋付き）を設け、バッテリーの点検、取替が容易に行えるようレール付引出し式とする。右側にも同じ形状のエプロン、ボックス（ステンレス製雨樋付き）を設け、資機材収納ボックスとする。また、右側にはステンレス製車輪止め用ワンタッチロック機能付き付ブラケットを設置すること。

ム 発動発電機（100V - 900VA 型）、移動式投光器、三脚、コードリールを引き出し式で収納する。（別途協議）

メ 路肩灯には専用「ON/OFF」スイッチを設けること。

【背面】

モ 灯火装置の制動灯等は後部車体内に埋込み式とすること。

ヤ 車体背部には、赤色点滅灯、作業灯、走行用諸灯火類、バッテリー充電装置、ナンバープレートを取り付ける。

ユ 車体背部ボックス内には、空気呼吸器用ボンベのブラケット（4本用、マジックベルト式、15MPa 及び 30MPa 対応）を設置する。また動力昇降装置（フォークリフト式（ハブ止め））にてホース延長資器材（箱型ホースカーTS-119）を積載すること。（詳細は当消防本部と協議すること。）

ヨ 天井への昇降用梯子を設置すること。梯子はアルミ製展開式とし、梯子上部片側には手摺りを取り付け、蹴込み部分はアルミ製の保護板を全面に貼り付けること。（詳細は当消防本部と協議すること。）

【下部】

ラ ポンプドレン電磁開閉バルブ等の設置位置は、地上高 40cm 程度とする。（詳細は当消防本部と協議すること。）

（3）各照明類の取り付け要領

原則として消費電力抑制のため、照明灯類はすべて LED 仕様とすること。

また、ボックス内、フェンダー内に設置する場合は、扉オープンスイッチを取り付けること。（詳細を当消防本部と協議すること。）

ア 車両左右側面、背面にそれぞれ 2 個の作業灯を取付けること。背面のみ保護枠付とし、LED 高輝度型とする。（詳細を当消防本部と協議すること。）

イ 車両後部テールランプ、方向指示器、バックランプ類は全て LED 仕様とする。

ウ 上記のほか、取付ける照明類の内訳は次のとおりとする。（後方車体構造と重複しています。）

（ア）操作盤照明灯 必要数（LED 型）

（イ）作業灯 8 個（キャビン上部左右に各 1 個、車体左右のシャッター上部に各 2 個背部上部左右に各 1 個、全て LED 高輝度型、背面のみ保護枠付）

（ウ）サーチライト 2 個（天井右後部、左前部に手動伸縮式高輝度 LED

- 投光器各 1 個)
- (エ) ボックス内灯 必要数 (LED 型)
 - (オ) 路 肩 灯 2 個 (左右 1 個、LED 型)
 - (カ) 車 幅 灯 2 個 (LED 型)
 - (キ) ステップ灯 4 個 (LED 型 ドア下方)
 - (ク) 水量計照明灯 2 個 (両側水量計上部各 1 個、LED 型)
 - (ケ) フェンダー内灯 2 個 (積水口照射用左右各 1 個、LED 型)
 - (コ) シャッター開閉確認灯、パイロットランプ類はキャビン内コンソールボックス部 (全て LED 仕様)
 - (サ) その他の必要部分 (全て LED 仕様とすること。)

2 塗装、メッキ

- (1) 車体は朱色とし、塗料は VOC (揮発性有機溶剤) 削減、鉛などの環境負荷物質を一切含んでいない等の環境を考慮したハイソリッドウレタン塗料を使用すること。(シャッター部も赤色塗装とする。)
- (2) 床板、各ステップ、器材収納室天井板はアルミ縞板 (地色) とする。接合部は、雨水の浸入がないよう十分に処理すること。
- (3) 水槽外装は黒色塗装とし、内面は亜鉛メタリコン処理とする。
- (4) ポンプ操作部は朱色塗装とする。
- (5) 車体下回りは、黒色塗装とする。錆やすい場所には、ワックス被膜防錆塗料を塗布すること。また、艀装溶接終了後にも同様の塗装を施し仕上げる
- (6) 納入後 3 年以内に塗装及びメッキ部分に、はなはだしい変色、亀裂、剥離、浮き上がり等が生じたときは、再塗装及び再メッキをすること。

3 通信関係

- (1) 無線電話関係 (既存設備を移設積載する。)
- 機種：消防用デジタル車載型無線機
- 型式：VM1154LD 単信方式
- ア 当消防本部の指定する無線機業者と設置方法について十分に調整し、全てを取り付け完了後に、無線試験交信を行い納車すること。
- イ 機器の位置は、無線機本体を運転席上部とし送受信機は助手席直近する。車体の左右に設置するスピーカーは機関員が聴き取り易い方向に向けた埋め込みとし、車外無線送受話器を金具側板に直付けで設置する。
- ウ 無線の設置に係る工事費用は、この指定する無線業者と協議するとともに、配線、電源等の工事を受注者の工場にて行うこと。
- エ 無線機本体は既設設備を移設するが、アンテナ、ケーブル、車内及びポンプ室のスピーカー、ハンドセット、ハンドセット金具、その他無線運用に必要な機器は新品を設置すること。(必要に応じ受注者の工場にて艀装時に設置)
- オ 更新前車両を非常用車両とするため、現在の非常用車両から更新前車両に移設し、更新前車両から更新車両へ移設すること。
- カ 移設に関する全ての費用は、受注者が負担するものとする。
- キ 詳細については別に定める消防専用無線電話装置の仕様書のとおりで

ある。

(2) 車両運用端末装置Ⅲ型（既存設備を移設する。）

ア 更新前車両を非常用車両とするため、現在の非常用車両から更新前車両に移設し、更新前車両から更新車両へ移設すること。

イ 当消防本部の指定する無線機業者と設置方法について十分に調整すること。

ウ 機器の位置は、モニターを運転席と助手席間のコンソールボックス先端に設置する。また、車体の左右に設置する外部設定器は機関員が操作しやすい位置に設置する。

エ 設備の設置に係る工事費用は、この指定する無線業者と協議するとともに、配線、電源等の工事を受注者の工場にて行うこと。

オ アンテナ配線の引き込みは必ず受注者の工場にて艀装時に行い、キャビン周囲に配線が露出しないようにすること。

カ 移設に関する全ての費用は、受注者が負担するものとする。

(3) 無線機等を移設する場合の作業範囲は次のとおりとする。なお、機器の取り付け位置、貫通部の位置、その他の質疑が生じた場合は、当消防本部担当者の指示を受けること。

ア 無線機の事前動作試験及び既設車両からの取り外し

イ 新規車両へ無線機の取り付け及び単体動作試験

ウ 新規車両への AVM の取り付け及び単体動作試験

エ 無線機と AVM との接続

オ 接続後の AVM 動作試験

カ 接続後の無線試験交信

(4) 設置作業が完了したら当消防本部担当者に申し出て、完了検査を受けること。

(5) 設置作業後 1 年以内に生じた故障、不具合等で、明らかに受注者の責任をみなされるものは無償で修理を行うものとする。

(6) 本仕様書に明記されていない事項で質疑が生じた場合は、双方協議のうえ決定する。

4 文字記入（詳細は別途協議を行うこと。）

(1) ドア両側面に左側から右側に向かって「稲敷広域消防本部」と記入する。

ア 書 体 丸ゴシック

イ 文字塗色 白色文字

ウ 文字サイズ 120mm

エ 記 入 幅 ドア形状による。

(2) 後部側面・背面シャッターへは次のとおりとする。

左右 2 面シャッターに「INASHIKIF. P. D. SEIBU」[CAFS] 及び背面シャッター中央上部に「INASHIKIF. P. D. SEIBU」とそれぞれ記入する。

ア 書 体 IMPACT

イ 文字塗色 白色文字

ウ 文字サイズ シャッターサイズによる。

エ 記 入 幅 シャッターサイズによる。

(3) 標識灯は、左から右に向かって「稲敷 40」と記入する。

- ア 書 体 丸ゴシック
- イ 文 字 塗 色 黒色文字
- ウ 文 字 サイズ 標識灯サイズによる。
- エ 記 入 幅 標識灯サイズによる。

(4) 対空標識は、車両キャビン天井部に「稲敷 40」と記入する。

- ア 書 体 丸ゴシック
- イ 文 字 塗 色 白色文字
- ウ 文 字 サイズ 1 文字 1 辺 50cm 以上（屋根サイズに合わせる）

(5) 各文字の記入は、事前に当消防本部の承認を得ること。

(6) 車体には反射テープを施すこと。（事前に消防本部と協議し、承認を得ること）

第 5 検査及び提出書類

1 進捗状況

進捗状況を示す書類、写真 1 部を提出する。なお、報告日時等は当消防本部と打ち合わせを行うこと。

2 中間検査及び納入時の完成検査

(1) 中間検査

製作工程中に当消防本部担当者が工場に出向し、次の項目について実施する。

- ア 車体の検査
- イ 艀装の検査
- ウ その他当消防本部が指示するもの

(2) 完成検査

消防本部が立会いの上、次の項目について実施する。

- ア 車体の検査
- イ 艀装の検査
- ウ 装備品・積載品・付属品
- エ その他当消防本部が指示するもの

(3) 上記以外に当消防本部、受注者がそれぞれ必要と認めるときは、特別検査をできるものとする。但し、実施にあたっては事前に相互連絡を取り合うものとする。

(4) 検査時の質疑等

受注者は、試験及び検査を通じ、不具合があると指摘された部分のやり直し又は修復について最善をつくすとともに、再検査を受けなければならない。

納入に至るまでの検査及び故障、修理に要した費用は受注者の負担とする。

(5) 受注者は、製作前において本仕様書の全般を確認し、用途が十分に果たせられるものとし、次の資料を A4 ファイルに綴り込みインデックスを貼付し提出するものとする。

【制作承認図書】

- ア 製作工程表 3 部
- イ 諸元明細表（シャシ、ポンプ関係） 3 部

ウ	車両艤装図面（艤装5面図）	3部
エ	装備取り付け図	3部
オ	電気配線図	3部
カ	ポンプ装置関係図	3部
キ	ポンプ配管系統図	3部
ク	水槽関係図	3部
ケ	シャシ関係図書	3部
コ	その他当消防本部が指示するもの	各3部

- (6) 納車時において本仕様書に基づくほか、各種機器検査を実施し、その結果不適と認められた箇所については、直ちに修復の上再検査を受けなければならない。

なお、納車時の提出書類については下記のとおりとし、A4クリアファイルに整理し提出するものとする。

ア	資機材配置完成図	2部
イ	水・真空ポンプ性能検査成績表	2部
ウ	消防車諸元表	2部
エ	車庫証明書	1部
オ	車検証写し	1部
カ	完成写真	2部

(ア) 制作工程に基づくシャシから完成車までの状況を撮影したもの。

(イ) 塗装状況が確認できるもの。

(ウ) 付属品を撮影したもの。

(エ) 前記総則（13）に記載した完成車検査写真

キ	緊急自動車届出書	1部
ク	車両・ポンプ取扱説明書	1部
ケ	各種機器取扱説明書	1部
コ	各種保証書	1部
サ	鑑定合格証票の写し	2部
シ	パーツリスト	2部
ス	納品書（明細価格入り）	1部

第6 補則

- 1 補則については、次のとおりとする。

- (1) 本仕様書は概要を示すものであるため、記載のない事項であっても新規格（排ガス規制等含む）に基づき、消防ポンプ車として機能操作上、当然具備しなければならない事項はこれを充足するとともに、メーカーが公表した標準艤装はすべて施すこと。また、装備品等については軽量かつ、堅固な材質を利用し長期の使用に耐え得ること。仕様書に明記されていない事項、質疑及び変更が生じた場合は、当消防本部と協議し指示を受けること。
- (2) 本仕様書で指定した形式以外の資機材を積載する場合は、当消防本部と協議し同等品以上とすること。
- (3) 製作の一部を他の者に外注する場合は、この仕様書を満足するように当該業者を監督すること。
- (4) 受注者は、納入時に専門技術員を派遣し、車両及び積載機器の点検整備、

使用方法について、詳細な資料を準備し十分な説明を行うこと。

- (5) 旧車両の廃車費用は受注者が負担するものとし、処分については当消防本部の指示を受けること。
- (6) 車両新規登録及び緊急自動車届出事務等は、全て受注者がこれを行うこと。
- (7) 受注者は納入まで責任を持って行動し、検定等はこれを代行するとともに、合格後に新規登録し納入する。また、これに係る費用は受注者負担とする。ただし、リサイクル預託金、自賠責保険料、自動車重量税及び登録諸費用は当消防本部が別途負担する。
- (8) 通信機器等の取り付け、配線等の細部については、受注者、関係業者、当消防本部の三者で協議すること。
- (9) 製作に際し、仕様内容に疑義が生じた場合は、速やかに協議し承認を受けるものとする。
- (10) 車両の保証期間は1年間とし、取り付け装置、付属品等については、メーカー公表の期間とする。
ただし、保証期間経過後であっても、艤装又は材料不良に起因する故障等にあっては、無償でこれを取替え又は修理するものとする。
また、1ヶ月点検又は1,000km点検に伴うオイル及びオイルエレメント交換を受注者負担で行うものとする。
- (11) 完成車両納車時は各部の清掃、注油及び点検を行い、燃料を満タンとすること。また、各種オイル、燃料等を必要とする資機材については、給油し始動可能な状態とするとともに、乾電池類は必要数を準備すること。
- (12) シャン用予備ヒューズ、予備電球、積載品用補充油脂、塗装（全色）補修用ペイントを準備すること。（量にあっては適量を当消防本部と協議する。）
- (13) 車両番号は「25-40」を指定する。
- (14) 各資機材収納ケースには「稲敷広域消防本部」と名入れをすること。
- (15) 契約後の車両製作協議議事録を受注者が作成し、1週間以内に当消防本部に提出すること。

車両及び取付品等内訳

1 車 両

No.	品 名	数量	備 考
1	シ ャ シ	一式	5.5t 級、低床式4輪駆動車増トン仕様 エアバッグ、ABS、エアコン装備 ポスト・ポスト新長期排ガス規制適合車
2	標 準 機 装	一式	水槽付消防ポンプ自動車 I - B 型 標準機装 車両総重量 11t 未満 キャブ天井部に作業台作成 CAFS 装置 (MMC5400)

2 取付品・取付装置

No.	品 名	型 式 ・ 規 格	数量
1	ポ ン プ 圧 力 計	100mm 電子式	2 個
2	ポ ン プ 連 成 計	〃	2 個
3	エ ン ジ ン 回 転 計	シャシ固有	1 個
4	エ ン ジ ン 油 温 計	シャシ固有	1 個
5	赤 色 警 光 灯	ウィレン FV10H (1680mm) レンズ赤白指定 (稲敷仕様) 標識 灯、スピーカー付、パターンスイッチ付	1 式
6	電子サイレンアンプ	大阪サイレン TSK-D152V (消防署) オプションメッセージ (指定4種) 6ch 764 (群衆整理) 7ch 1411 (群衆整理) 8ch 431 (鎮火) 9ch 1170 (群衆整理・ドクターヘリ) 10ch 154 (火災警報) 500 (出動予告) 専用スイッチ設置 511 (交差点進入) 専用スイッチ設置 524 (渋滞通過) 専用スイッチ設置	1 式
7	照明灯 (サーチライト)	ウィレン PCH-24 後部車体前方上部 伸縮ポール自在式 後部車体後部中央上部	2 式
8	後 退 警 報 器	シャシ固有	1 式
9	標 識 灯	赤色警光灯中央に設置	1 式

3 軽微な変更として備えることのできる取付品及び装置

1	呼吸器用クイックホルダー	キャビン内後部空気呼吸器積載装置	4 式
2	電動 (モーター) サイレン	大阪サイレン 6 SA 型	1 式
3	ポ ン プ 回 転 計	デジタル式	2 個
4	キャブチルト装置	シャシ固有	1 式

5	オイルパンヒーター	キャブタイヤコード 10m 1本付	1式
6	不凍液注入装置	ポンプ、コック類	1式
7	作業灯	(側面) ウィレン M6ZC24 (メッキ仕様) 又は、モリタ MYSW-1160H-W (保護枠無)	4個
		(背面) ウィレン M62BUC (メッキ仕様・保護枠付)	2個
		(キャビン) モリタ MYSW-600H-W2 (保護枠無)	2個
8	赤色点滅灯	(前面) グリル内 ウィレン WIONSMCR24 (メッキ仕様)	2個
		(側面) ウィレン M6FCR24 (メッキ仕様)	4個
		(背面) ウィレン M6FCR24 (メッキ仕様) ※フラッシャーリレー一式含む	2個
9	ポンプ室照明灯	左右ポンプ計器盤上部 (LED仕様)	2個
10	車外無線送受話器取出口	両側面	2個
11	自衛噴霧装置	左右側面各3個	6個
12	ステップ灯	防滴型 LED仕様	4個
13	フェンダー内灯	防滴型 LED仕様 展開式フェンダー内	2個
14	路肩灯	防滴型 LED仕様 両側後輪前部 保護枠付	2個
15	バッテリー充電装置	マグネット式専用コード 10m付	1式
16	100Vコンセント	キャビン内指定位置に取付け	1口
17	各パイロットランプ	コンソール	1式
18	各ボックス内照明	前収納庫へ各2個 (LED 保護枠付)	必要数
19	サイドバイザー	各ドア純正品	4枚
20	シートカバー	全座席ビニールレザー製	1式
21	消防用無線装置移設	消防用デジタル車載型無線機	1式
22	車両運用端末装置移設	車両運用端末装置Ⅲ型	1式

4 備えなければならない附属品

No.	品名	型式・規格	数量
1	吸管	軽量 75mm×10m ライフレックス LF-RS 型	2本
2	吸口ストレーナー	プラスチック製	2個
3	吸管ストレーナー	プラスチック製	2個
4	吸管ちりよけ籠	プラスチック製	2個
5	吸管枕木	ゴム製	2個
6	吸管ロープ	10mm×15m	2本

7	消 火 栓 金 具	75mm メスネジ×65mm 差込メスプロテクター付き	2 個
8	中 継 口 媒 介 金 具	65mm メスネジ×65mm 差込メス	2 個
9	消 火 栓 開 閉 金 具	バルブキー Φ19×900×持ち手 300 mm	1 丁
10	吸 管 ス パ ナ	別途協議	2 丁
11	管 そ う	無反動・PL-65A (ヨネ)	1 本
		無反動・PL-50A (ヨネ)	1 本
12	ノ ズ ル	NV-65W-II (ヨネ・ダブコンマーク II)	1 個
		エコファイターノズル (モリタ)	2 本
		ストレートノズル (専用ブラケット設置)	2 個
13	放 口 媒 介 金 具	マルチコネクト (ヨネ) 65 mmメスネジ×65 mm差込オス	4 個
14	と び 口	1.8m (柄グラスファイバー製)	2 本
15	金 て こ	別途協議	1 丁
16	剣 先 ス コ ッ プ	柄金属製	1 丁
17	箱型ホースカー	TS-119	1 台
18	三 連 梯 子	チタン製 8.7m 関東梯子 (株) 製 KHA-87 型 掛金確認安全装置付	1 脚
19	車 輪 止 め	ゴム製、固定金具 (ステンレス又はアルミ製) にて積載	2 個
20	消 火 器	自動車用 (ABC 粉末 6Kg 入) 20 型	1 本
21	ポ ン プ 工 具	ポンプメーカー純正品	1 式
22	消防用ホース	キンパイ SP-aya-AA 65mm	30 本
		キンパイ プロファイター A 50mm	20 本

5 軽微な変更として備えることのできる附属品

1	タイヤチェーン		1 式
2	分岐管 (二又分岐)	MC 分岐ボールバルブ WB-65MC (ヨネ)	2 個
3	ホ ー ス ブ リ ッ ジ	ゴム製 L - 460	1 組
4	ワ イ ヤ ー ロ ー プ	牽引用両端トヨロック加工 16mm×5m (玉掛け用)	1 本
		牽引用両端トヨロック加工 16mm×10m (玉掛け用)	1 本
5	照 明 器 具	発電機 ホンダ EU9i	1 台
		投光器 ML809	1 台
		パワーソースキット A-61226	2 式
		コードリール (屋外・防雨型)	1 式
		ライト用三脚	1 本
6	斧	別途協議	1 丁
7	掛 矢	PS-65S 離脱式 715mm	1 丁
8	スタンドパイプ	PS-65S 離脱式 715 mm	1 本
9	特殊ノズル		1 本

6 その他の附属品

1	空 気 呼 吸 器	ドレーゲル PSS7000、FPS7000 面体付、面体収納袋	5 基
2	空気ボンベ	ウルトレッサ ALT-1082J (上下シリコンカバー付)	5 本
3	媒 介 金 具	65 オスオス・65 メスメス・ 65 メス 50 オス・50 メス 65 オス 50 オスオス・50 メスメス	6 個
4	吸 口 エ ル ボ	ヨネスーパースイングモデル	2 個
5	ハ ン ド マ イ ク	ノボル レニ-マホン TS-633R (赤)	2 個
6	か ぎ 付 梯 子	関東梯子 (株) KHFL-TOT31 チタン製	1 脚
7	ライトアップコーン	ジャバラ式、LED 内蔵型	5 個
8	鉄 線 カ ッ タ ー	絶縁ボルトクリッパー BC600-FN	1 丁
9	車 両 整 備 工 具	KTC 工具セット 56 点 ケース赤	1 式
10	送水基準版		2 個
11	ホ ー ス ク ラ ン プ	東京サイレン TS-6003	1 個
12	ホースバンド・バンデージ	バンド OH-1 型 バンデージ HB-100	5 個 5 個
13	予備ヒューズ、ランプ	車両メーカー純正品	必要数
14	フ ロ ア マ ッ ト	車両メーカー純正品	1 式
15	携 帯 用 ラ イ ト	ウェポイント (ブラック) 068B※乾電池式	3 個
16	ハ ン マ ー	NIKKO MT002B	1 個
17	T 字 バ ー ル	T 字型消火栓キー	1 個
18	機能集中操作スイッチ	大阪サイレン SBW-D1 10 連スイッチ	1 式
19	水 利 蓋 開 閉 バ ー ル	日之出式 36 型	1 個
20	吸管ストレーナー一体型藤 かご	控綱付きストかご	4 個
21	消 火 薬 剤	マルチ A	5 缶
22	背 負 い 式 消 火 器 具	バルファースト	3 式
23	弁 慶	サイズ (大)	1 丁
24	ト ッ プ マ ン と び	大阪サイレン製	2 丁
25	ダイヤル式マルチストップバルブ	ST バルブ V - II (ストップバルブ) 50A	4 個
26	バックボード	バックボード 2010 バックボードストラップ 436 ヘッドイモビライザー 445	1 個 1 式 1 式
27	携帯型熱画像カメラ	Reveal fire pro 300	1 台
28	可 燃 性 ガ ス 測 定 器	理研計器 GX-Force (TYPE A)	1 式
29	カ ラ ビ ナ	KA10K-S 軽量カラビナ SMD	10 個 3 個
30	シ ャ ッ ク ル	3 t 及び 5 t	各 3 個
31	フルボディーハーネス	ペツル アバオボッドファスト	2 個
32	墜落制止用器具	ペツル アブソービカバリオ	3 個

33	ダイヤモンドブレード	TRUSCO 湿式コンクリート・アスファルト兼用ダイヤモンドブレード 14インチ	5枚
34	ハンマードリルアタッチメント	ヒルティ スコップチゼル TE-SX-SP50	1本
35	人命検索棒	FS - JAPAN RR ゾンデ	5本
36	インパクトドライバ	マキタ TD-173DRGX	1器
37	グラインダー	マキタ GA404DRGXN	1器
38	ホースバグ	FS - JAPAN ホースバックⅡ G50-65	6個